



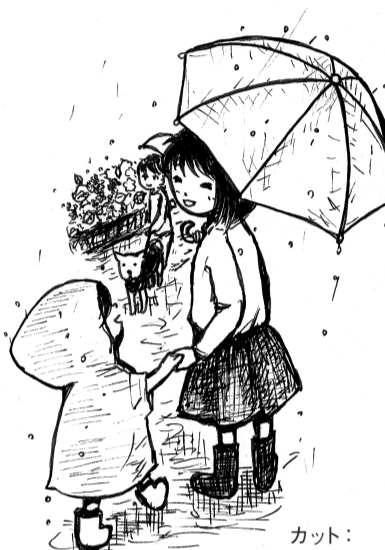
第365号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



夢を捨てるな

梅雨入り前の青空が広がり、お寺の周辺の田にも水が入り田植えが間近になってきました。庭に咲く紫陽花の花も、梅雨を待っているのか色濃くなっています。皆様、お元気ですか。



カット：本多紘子

昨年末に中国で発生した新型コロナウイルスの世界的流行が、先進国では感染防止対策の徹底により少し治まりかけていますが、医療技術の遅れている後進国では感染者の把握が出来ず感染の歯止めが効かないようです。5月23日現在、世界の感染者は520万人超、死者は33万人超で、感染予防のワクチンが出来るまでは心配なことです。コロナウイルスで今年の夏の東京オリンピックの開催が来年に延期されたり、感染防止のため学校の授業が三月から休校になって小・中・高校の児童生徒たちが自宅待機となり、勉強が遅れて教師も生徒も親も困惑しています。また、事業によっては休業要請され、仕事を失い生活に困る方が増えています。世界中がコロナ感染で死ぬより、仕事を失って生活苦で死ぬ人が多くなるのは避けたいな。友人や家族に逢いに行けず、遊びにも、旅行にも行けない。誕生日を祝うことも、病院にも見舞いに行けず、葬儀に参列しお別れの言葉を手向けることも出来なくなったコロナ禍、悲しすぎます。このウイ

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

ルスの副作用の毒性によって、ありとあらゆる人間的な営み、社会関係、精神活動、日常の行動が制限されてしまったけれど、人類の長い歴史のなかで何度も災禍を乗り越えてきたのだから頑張ろうよ。愚僧はNHKテレビの朝ドラを楽しんでいます。4月からの『エール』も熱心に観ています。『エール』は「励まし」という意味で、人生の苦難を乗り越えていく主人公役の古山祐一のモデルが古関裕而氏です。浄土真宗の開祖である親鸞聖人700回大遠忌（昭和36年）の記念事業として歌詞を募集し、作曲を古関裕而氏に依頼、当時大スターだった島倉千代子が歌い、お寺では法座があると、この『しんらんさま』をみんなで合唱して、親鸞聖人を偲んだ歌こそが古関裕而氏の作品だったのです。皆様、古関裕而氏のこと知っていますか。

1909年（明治43年）に福島市大町にあった呉服店「喜多三」に長男として生まれ、1922年（大正11年）に音楽家の多い旧制福島商業学校に入学。父親が音楽好きだったので、幼少の頃から音楽の中で育ち、常にハーモニカを携帯し、独学で作曲に夢中となります。

商業学校を卒業後、憧れていた作曲家の山田耕筰の事務所に入社し、楽譜出版社の作曲コンクールに応募し、二等入賞を果たします。1930年9月にコロムビアレコード専属の作曲家となり、最初の一年は作曲が採用されず苦しみますが、やがて認められ『愛国の花』

『長崎の鐘』『君の名は』などのヒット曲も作曲、また早稲田大学第一応援歌『紺碧の空』や阪神タイガースの歌『六甲おろし』等の応援歌も数多く作り、今でも愛され歌われています。

この朝ドラも撮影収録するのに、監督や役者さんが「密閉・密接・密集」の三密空間となるので、コロナ感染防止のために撮影を休止しており、7月から放送が中断されるそうです。でも古関裕而氏のように努力を惜しまず、夢を大切に生きようよ。

『苦勞して涙流して人育つ 努力惜しむな夢を捨てるな』 どんりゅう



カット：奥原綾

ともしび説法

日時・六月 二日「火曜日」 午後一時から午後四時まで。
七月 六日「月曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり ④

仏陀の左右の手とまで賞賛された智慧第一のサーリプッタ(舍利弗)と神通第一のモッガラナ(目犍連)が仏弟子として帰依して来たことは、大きな出来事でした。

たまたま五比丘の一人であるアッサジ(阿説示)が王舎城の街路を托鉢して歩いていくとき、サーリプッタと出会います。アッサジの托鉢姿に清らかなものを感じ、サーリプッタは郊外までついていき、休憩しているときに尋ねます。「あなたの師は誰ですか。いかなる教えを信じていますか」と。アッサジは「私は釈迦族出身の大沙門の弟子です。彼を師とし、彼の教えを奉じています」と答えますと、サーリプッタは「あなたの師はいかなる真理を説いているのか」と再度尋ねます。アッサジはまだ出家して日が浅く詳しくは説けなかったが、簡単な偈(詩)を説きました。「すべてのものは原因から生ずるのであって、如来はその原因を説かれる。またそれらのものの滅も説かれる。大沙門はこのような主張者である」

智慧第一のサーリプッタは、この簡単な偈だけで、仏陀の特質『縁起の道理』を知り、法眼(仏教の根本理念)を得て第一段の聖者となり、これこそ自分が今まで求めていた教えであることを知りました。

アッサジから仏陀の教えを聞いたサーリプッタは、直ちに親友のモッガラナの所に行つて、事の由を告げ、一切を話すと、『縁起の道理』を聞いたモッガラナもまた法眼を得て、第一段の聖者となった。

かくて、二人はいよいよお釈迦様のもとに行つて出家することに決め、彼らが託されている懷疑論の師匠サンジャヤの弟子二百五十人にも、いちおう事情を話します。すると彼らもまた一緒に従いたいと言います。師のサンジャヤにも話すと、怒って反対しますが、二人の心は決まっていた。合掌(奥原曇龍)

雨もよし晴れるもよしと蛙鳴く 紫陽花微笑むともしびの寺 田辺多恵子



5月15日 ともしび説法の読経

ともしび法話

梅雨入りも間近になり、ジトジトした日本の夏がやってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

コロナウイルスの感染予防のために外出自粛を要請されていましたが、少し解除をされホッとしています。まだ油断はできませんが、孤立せずに助け合いたいですね。心光寺坊主(ぼうもり) 奥原 博子

今年4月に14年前からパーキンソン病で闘病中の夫の喜代二が満83才でお浄土に旅立ちました。二人の息子が助けられ、精一杯の見送りが出来ました。お葬儀のときは曇龍先生の御法話有り難うございました。倉敷市北畷 藪田タツ子

5月に夫の実が満69歳でお浄土に旅立ちました。昨年2月にガンを宣告され、余命2か月と言われ、自宅療養を選びました。家族みんなで支え合い、孫たちも頑張ってくれたので、主人も感謝、感謝でした。倉敷市南町 大野 和子

人として生まれたことに手を合わし 苦難のたびにこころ成長す 山田 孝治

ともしび説法

日時・六月 二日「火曜日」 午後一時から午後四時まで。
七月 六日「月曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

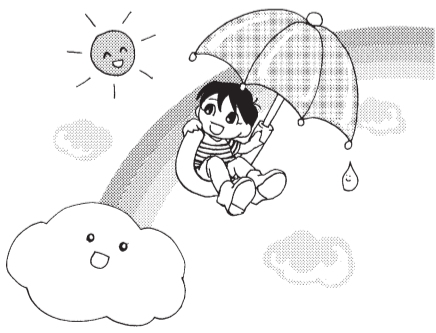
○ともしび説法・お寺の行事予定
八月 二十日(木)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。
九月 七日(月)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。
十月 二十二日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

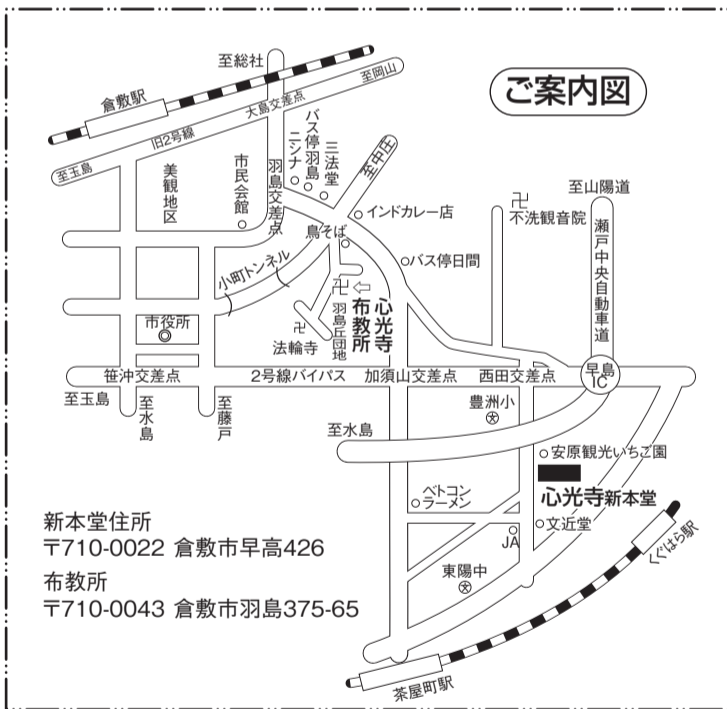


ともしびの詩

梅雨が来たよ さつそうとカッコよく 幸せに生きたいと願いながら 過ぎし日は苦しみばかり 背中に重い荷物を背負いつつ そっと自分を見つめよう 雨を喜び紫陽花の花咲く



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 山下稔様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「365号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅 西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健